資料５

令和８年度　多職種連携研修計画（案）

（１）相互理解の促進

①医療／介護・障がい福祉関係者向け研修

目　　的：「相互理解」というテーマで，医療関係者には介護・障がい福祉側の事情を介護・障がい福祉関係者に医療側の事情を知っていただく機会とし，お互いの距離や隔たりを縮め，顔の見える関係の中で更に連携を高めることを目的

a．医療関係者向け研修

目　　標：・退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしているかを知ることで，退院後の生活のイメージを深めることができる

・イメージを深めることで，病院での受け入れ時の対応や情報整理，退院支援時の連携力の向上となる

テ ー マ：（仮）退院後，施設でこんな生活をしています

～介護医療院，養護老人ホーム編～

講　　師：介護医療院　相談員か看護師

養護老人ホーム　相談員か看護師

研修時間：１時間（１５～２０分×２名，質疑応答）

内　　容：〇介護医療院

①施設の紹介（配置職員の紹介など）

②利用者の視点で施設の１日の流れ

③施設でできるケアについて（施設で行っている医療処置について等）

例）医療ニーズがある方への対応

④退院時の情報共有の必要性について

例）食形態等病院からの情報によって，退院後の生活で工夫をしている等

⑤事例紹介

例）退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしている

⑥介護医療院の事情について

⑦介護医療院の強みについて

〇養護老人ホーム

①施設の紹介（配置職員の紹介，特養と養護老人ホームの違いなど）

②利用者の視点で施設の１日の流れ

③施設でできる対応について（医療処置，通院対応等）

例）施設で可能な医療処置，通院対応，外部サービスの利用等

④退院時の情報共有の必要性について

例）食形態等病院からの情報によって，退院後の生活で工夫をしている等

⑤事例紹介

例）退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしている

⑥養護老人ホームの事情について

⑦養護老人ホームの強みについて

開催方法：集合開催（キャラバン方式　全３回実施予定）
時　　期：医療関係者向け研修も介護関係者向け研修も５月，８月，年明けの２月を予定
・１回目　５月　　日（　）１７：３０～１８：３０（予定）　会場は市立函館病院
・２回目　８月　　日（　）１７：３０～１８：３０（予定）　会場は新都市病院
・３回目　R9年２月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館市医師会病院
タイムスケジュール：（例）挨拶　１～２分
講演　講師２名　各２０分（計４０分）
質疑応答　１５分
挨拶　１～２分
申し込み方法：Ｇｏｏｇｌｅフォーム（事前質問を受付予定）

ｂ．介護・障がい福祉関係者向け研修
目　　標：・介護・障がい福祉関係者に，医療機関の病床機能や対象となる患者像，入院可能期間の違い，役割等を理解してもらうことで，スムーズな連携につなげることができる
・病院の中で行われている入退院支援の流れなどを知ることで，自分たちに行える必要な連携を考えることができる
テ ー マ：（仮）現場で知っておきたい精神病床・医療療養病床の役割と事情
～思いやりのある連携～
講　　師：医療相談員か退院支援看護師
研修時間：１時間（１５～２０分×２名，質疑応答）
内　　容：〇精神病床，医療療養病床について
①病棟の役割や要件について（入院期間など）
②患者像・入院理由について
③精神病床の事情について
④入退院時の情報共有の必要性（入退院時加算などを含めた話）
開催方法：集合開催（同テーマ，同講師，同内容で計３回開催予定）
１，３回目は函館市で実施予定，２回目は北斗市または七飯町で実施予定
時　　期：医療関係者向け研修も介護関係者向け研修も５月，８月，年明けの２月を予定
・１回目　５月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館競輪場テレシアター
・２回目　８月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は北斗市または七飯町の予定
・３回目　R9年２月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館市医師会病院
タイムテーブル：（例）挨拶　１～２分
講演　講師１名の場合，４０分
講師２名の場合，各２０分（計４０分）
質疑応答　１５分
挨拶　１～２分
申し込み方法：Ｇｏｏｇｌｅフォーム（事前質問受付）

②オープンカンファレンス（年度中に検討）

③研修会等コーディネート
各関係団体へ６月頃に確認書類配布，医療・介護各関係団体窓口一覧の内容の確認，更新

（２）連携強化

①第１１回函館市医療・介護・障がい福祉連携多職種研修会（案）

共　　催：ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

日　　時：令和８年１０月１７日（土）１４：００～１７：００　※予定

場　　所：函館国際ホテル

目　　的：これまでの医療・介護連携に障がい福祉分野の方々に参加してもらい，それぞれの役割や専門性を互いに理解し，患者・利用者および障がい者（児）が切れ目なく安心して地域で生活できる支援体制を構築するため，多職種間の連携意識と実践的な連携力を高めていくことができる

目　　標：・医療・介護・障がい福祉それぞれの支援の視点を知り，互いの役割・制度の違いを理解する

・連携が必要な場面を互いに共有し，理解する

・医療および介護，障がい福祉関係者に必要な知識・技能に関する情報共有を行える多職種連携の新たな土台の構築（顔の見える関係づくりの構築）

テ ー マ：（仮）医療・介護・障がい福祉の垣根を越えて つながるあらたな一歩

（サブテーマ案①）～知ろう！語ろう！繋がろう！～

（サブテーマ案②）～みんなで考える連携の課題～

（サブテーマ案③）～暮らしを支える連携を考える～

講　　師：座長：（川口先生）

講師：未定

〇候補

医療側：ＭＳＷ

介護側：包括職員，ＣＭ

障がい福祉：相談支援専門員

内　　容：〇講演内容

・「医療・介護・障がい福祉」それぞれの連携における現状と課題

・現場で起こりやすいすれ違い　等々

〇グループワーク

・パターン①（ワールドカフェ風）※席替えあり

①各分野同士で連携における困りごとについて話し合う

（医療・介護・障がい福祉それぞれの分野での席）

②席替え後，①で話し合ったことを多職種で共有し合い更に深める

（多職種での席）

・パターン②（ワールドカフェ風）※席替えあり

①多職種で連携における困りごとについて話し合う

②席替え後，①で話し合ったことを多職種で共有し合い更に深める

・パターン③※席替えなし

多職種でのGWとし，２つのテーマについてディスカッション

②看取り

「函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』」

※道南地区老人福祉施設協議会，道南地区老人保健施設事務長連絡会，南北海道グループホーム協会，函館市有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅ネットワーク，在宅医療医会との共催にて開催を検討

③入退院支援

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催）

「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」（情報共有ツール作業部会主催）

※各部会・分科会にて開催検討

④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

※実務者会議にて検討

（３）多職種連携の専門性の向上

〇函館市における多職種連携への理解の促進

・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

（４）人材育成

〇センター主催研修会への見学参加

・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する

・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続